令和５年度　９月８日　９号

教職員も　生徒も　**挑　戦　！**

科学部自由研究発表会　（８月８日）

理科室において、SDGs を意識した研究を一人一人が発表をしました。研究の内容には、災害時に川の水をどのようにろ過をすればいいのか、学校で毎日チョークを使うことで発生するチョークの粉を再利用できないか、段ボールでコーンポストが作れないかなど、みんな一生懸命発表してくれました。しかも身近なテーマが多く、とても興味深い研究でした。１，２年生は継続して取り組んでみるのもいいかと思います。

少年の主張中毛地区大会　（８月２０日）

中毛大会には前橋、伊勢崎、北群、玉村から代表１８名が参加しました。その中の最優秀賞４名が県大会に出場することができます。そして見事、本校から出場した生徒が９月１６日に行われる県大会への切符を勝ち取りました。

本校の生徒のすごいところは、内容はもちろんのこと、話すときの抑揚の付け方、机をたたくところ、そしてなによりも原稿を見ないのではなく、原稿自体を演台に持っていかないのです。　本当にすごいです！

生徒会選挙の告示　（８月３１日）

生徒会選挙の始まりをしらせる告示が、選挙管理委員長により行われました。ぜひ「理想の南中づくり」に携わってみたいと思う１、２年生が、たくさん立候補してくれることを期待しています。

面接練習が始まる

２学期がスタートしたところですが、３年生は面接練習がスタートしていました。教室を覗いたら、ビデオで面接の仕方を学んでいました。今までの生活の中では学んでこなかった作法がたくさんあって難しいところもありますが、繰り返し練習して身に付けてほしいと思います。この練習がきっと将来にも役に立ちます。

南中 HP でカラー版が見られます

生徒会本部役員の踏ん張り！　紹介

学校では生徒会選挙の告示が行われ、いよいよ現生徒会本部役員７名の任期もあと少しとなりました。７名は各自が部活に所属し、そして受験生として学習にも取り組みながら、時間を上手にやりくりして生徒会の仕事に取り組んできました。現生徒会の活動は、新たな活動も多く、より大変だったと思います。夏休み以降の頑張りを一部紹介します。

ＪＲＣトレセン＆子供会議　（８月２日）

玉村町の小中学校から代表が集まり、ＪＲＣトレセンと子供会議が行われました。本校からは生徒会２名が代表として参加しました。

ＪＲＣトレセンでは防災について学びました。もし災害が発生し避難所生活を強いられたら、みんなと協力して、対話しながら生活しなければなりません。そこで他校の児童生徒と竹ひごを使い、できるだけ高いタワーを作るという課題に取り組みました。試行錯誤する過程で他校の子供たちと話し合い、タワーを作っていくことを体験できたことはとても有意義だったと思います。また子供会議では、「学校をよりよくするために　～ワクワクする学校ってどんな学校？～」というテーマで話し合いました。今回は玉村高校と県立女子大の生徒がサポートしてくれたことで、今までより深い話合いができました。ここでの経験を２学期以降に生かしてくれることを期待しています。

生徒会　職員会議に参加　（８月２９日）

職員会議の冒頭、生徒会本部役員が校則の改定について説明をしました。その中で、いつもの授業と逆で、生徒会が考える改定案を先生方に説明し、それについて先生方が質問をする場面がありました。ともて新鮮に感じた時間でした。私は３０年以上学校に勤めていますが、生徒が職員会議で発言する姿を見たことがありません。きっと生徒会の生徒は緊張したことと思います。それでもしっかりと説明し、また先生方の質問に丁寧に受け答えをすることができ、とても立派でした。

縦割り活動

全学年交流　（９月４日）

生徒会主催の全校縦割り活動が実施されました。班員はアットランダムに決められ、それぞれの班がどこでどんな活動をするかも班ごとに相談しました。活動終了時には笑顔の生徒が多く見られ、学年を越えてつながりをもつことができたのではないでしょうか。

「理想の南中づくり」

紹介した以外にも、生徒会は休み中に校則の改定のためのアンケート結果の集計と改定案作成、玉村高校の先生との懇談、玉中との交流会の実施等、精力的に取り組んでいました。何回も計画や提案内容を修正したり、校長室や職員室で先生方に相談したり、自分たちで考えたことを実行するために、粘り強く取り組む姿には頭が下がります。

いよいよ生徒会の任期もあと１か月ほどです。自分たちで「気付き、考え、正しく判断し、挑戦する（行動する）生徒会」がこれからも続くように、１、２年生にしっかりバトンを渡してください。

南中 HP でカラー版が見られます